

1学年だより

No.13

令和7年7月18日(金)発行
大鳥中学校第1学年

15日(火)に学年集会

1学期の反省と夏休みの過ごし方についての学年集会を、15日(火)に行いました。この夏休み非常に心配していることがあります。それは、学習面の取組についてはもちろんですが、生活面についてです。SNS等のトラブルにつながるようなことに足を踏み入れたり、加担しないよう、ご家庭でよく見ていただきたいと思います。

1学期、無事終了する

4月7日の入学式から72日間登校日がありました。この間、大きな事故や怪我もなく、生徒たちは無事、学校生活を送ることができました。

しかし、もう少し頑張ってほしい面も少なからず見られました。具体的には、先日の学年懇談会で担当からも説明がありましたが、全体的に行動が遅いということです。

前の時間が少し遅れていたなら、次の取組へ向けてその遅れを取り戻すためにも、普段より速めの行動が必要になる場合があります。しかし、友人とのじやれ合いや無駄話等で、行動が遅れてしまう場面が多々見られたということです。

2週間ほど前でしたが、4校時の授業終了が遅れてしまい、給食の準備を急がなければならぬにも関わらず、行動がゆっくりで準備がかなり遅れ、それい伴い片付けもかなり遅くなってしまったことがありました。給食センターでは、給食終了後に分刻みであちこちの学校に回収に行きます。1学年の片付けまだと言うことで、給食の食器等を回収しているトラックを待たせるわけにはいきません。このことは一事が万事でした。

2学期は、このようなことのないよう、頑張ってほしいと思っています。学年懇談会で話したように、「職業人に聞く会」では非常に素晴らしい取り組みでした。1学年はやればできる学年です。大いに期待したいところです。

また、1日も休まず72日間登校できた生徒は14名いました。とても立派なことだと思います。できれば3年間、無遅刻無欠席が続けばと思います。卒業シーズンになると地方新聞(福島民報や福島民友)に、私立高等学校の3年間無欠席者名が掲載されるのをよく見かけます。それだけ素晴らしいことの証だと思います。もちろん、体調が良くないにも関わらず無理をしてまで登校してほしいということではありません。無理のない範囲内で頑張ってほしいと思います。



第1学期終業式より

本日、第1学期終業式を実施しました。校長先生からは、1学期の復習をしっかりと実践するとともに、2学期へ向けて夏休みを有効に活用してほしい旨お話をありました。

また、生徒指導の先生からは、夏休みの過ごし方について、学年懇談会で配付した「夏季休業中の生活についてのお願い」をもとに、お話がありました。

1学年からは、梅津笑生さんが1学期の反省を、全校生の前で堂々と発表しました。非常に立派でした。

また式に先立ち、表彰披露がありました。1年生では、中体連県大会柔道競技で鳴原彪汎さんが個人戦 50kg 級3位となり、東北大会に出場することになりました。おめでとうございます。次は全国大会を目指し頑張ってほしいと思います。



第1回実力テストへ向けて

1学年だより10号でお知らせしたとおり、夏休み明けすぐの8月25日(月)に第1回実力テストを実施します。出題範囲表は別紙で配付しましたが、裏面にも掲載します。

出題範囲が漠然としているため、どのような学習の取組をすればよいか、分からない生徒がほとんどだと思います。基本的には1学期の復習をしっかりと行えば良いと思いますが、まだ授業で取り組んでいない2学期の予習をしっかりと行うと、1学期の学習内容がスムーズに理解できるようになる場合が多くあると思います。

実力テストのための学習ということではなく、1学期の復習と2学期の予習という取組を、教科書やワークブックを中心に実践すれば良いと思います。

